

うきは

市議会だより



令和5年
11月1日

令和5年
9月議会号 No.75

CONTENTS

P2~P4 9月定例会 主な議案

P5 議会から、政策提言!

P6~P9 令和4年度決算特別委員会

P10~P12 市政を問う! 一般質問

P13~P14 各委員会報告

P15 意見交換会、開催します!

P16 市民の声・表紙紹介

令和5年度9月定例会

【会期】 令和5年9月1日～21日(21日間)

【上程された議案】

- ▼ 報告 …………… 4件
- ▼ 議案 …………… 21件
- ▼ 請願 …………… 1件
- ▼ 追加議案(意見書・決議) …… 3件



妹川元有地区土砂崩れ

主な議案

9月定例会は、7月の豪雨災害による災害復旧費を中心に組まれた補正予算の審議となりました。

今回、令和5年度のうきは市一般会計補正予算(補正第4号、補正第5号)の、専決処分が承認されました。

また、令和5年度うきは市一般会計補正予算(第6号)並びに国民健康保険事業特別会計、後期高齢者医療事業特別会計、自動車学校特別会計と簡易水道事業会計、下水道事業会計の補正予算を中心に、条例制定案1件、条例改正案6件が審議承認されました。

令和5年度うきは市一般会計補正予算(第6号)

令和5年度うきは市の歳入歳出予算に、それぞれ12億8374万1千円を追加し、総額を歳入歳出それぞれ190億480万4千円としました。

主な歳入



〈繰越金〉
5億4229万8千円
前年度繰越金です。

〈県支出金〉
3億870万5千円
農業災害復旧費及び農業費補助金です。

〈繰入金〉
443万円
公共施設等整備基金です。

〈市債〉
420万円
過疎対策事業債(情報格差是正事業)です。

〈土木費国庫補助金〉
200万円
狭あい道路整備促進事業です。

〈寄付金〉
106万円
災害見舞金です。

〈地方交付税〉
4億2430万7千円

専決第10号 令和5年度うきは市一般会計補正予算(第4号)

豪雨による災害復旧対応のため歳入歳出予算の総額に歳入歳出予算にそれぞれ8億7910万円を追加し総額を歳入歳出それぞれ176億2602万円としました。

専決第11号 令和5年度うきは市一般会計補正予算(第5号)

豪雨による災害復旧対応のため歳入歳出予算歳入歳出予算の総額に歳入歳出予算にそれぞれ9504万3千円を追加し総額を歳入歳出それぞれ177億2106万3千円としました。

主な歳出

〈災害復旧費〉

6億9841万円

農地の災害復旧費、被災園芸産地改植等支援事業費補助金、農業機械・施設災害復旧支援事業費補助金、道路河川の災害復旧工事費、物件補償費、災害査定設計委託料などです。



〈総務管理費〉

5億1792万6千円

約5億円が財政調整基金として積立です。袋野地区地上デジタル放送無線共聴施設予備設備

整備業務委託料、旧浮羽老人ホーム組合精算額返還金などです。



〈農業費〉

5673万1千円

水田農業振興対策事業費補助金、新規就農総合支援事業費補助金、飼料等高騰対策支援事業費補助金、みどりの食料システム戦略緊急対策事業費補助金です。



〈商工費〉

1380万円

従業員への家賃補助支援補助金、市立公園樹木管理委託料、営繕工事費です。

〈児童福祉費〉

1132万円

民間保育所等給食費補助金、保育所等光熱費支援事業費補助金です。



〈土木管理費〉

400万円

測量登記委託料です。



〈保健衛生費〉

100万円

新型コロナウイルス予防接種健康被害給付費です。

令和5年度うきは市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ9150万9千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ39億3687万7千円としました。

令和5年度うきは市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ250万5千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ5億4962万8千円としました。

令和5年度うきは市立自動車学校特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ356万9千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ1億5207万6千円としました。

令和5年度うきは市下水道事業会計の補正予算(第2号)

下水道事業費用を775万円の増額とし、総額13億5752万8千円としました。また、債務負担行為として198万円が計上されました。

9月議会 意見書

意見書3号

▼令和5年梅雨前線豪雨等による災害復旧支援の充実を求める意見書の提出について

意見書4号

▼地方財政の充実・強化を求める意見書の提出について

いずれの意見書についても、全会一致で可決となりました。



人事案件

人権擁護の委員の推薦

〔任期〕

令和6年1月1日

～令和8年12月31日



ほりえ あけみ
堀江 朱美 氏



すぎ たかのぶ
杉 孝信 氏

条例に基づく承認

○指定管理者の指定手続きに関する条例に基づき、うきは市立百年公園の指定管理者として、(株)ノープルを指定することを承認しました。

条例の制定

○うきは市災害派遣手当等の支給に関する条例の制定

災害応急対策又は災害復旧等のため、うきは市に派遣された職員に対する災害対策基本法に定められた災害派遣手当の支給を定めたものです。



○こども家庭庁設置法の施行に伴う関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定

関係省庁からこども家庭庁に所掌事務が移管されることに伴う条例改正です。

○児童福祉施設の設備及び運営に関する基準等の一部を改正する省令の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定

児童福祉法に基づく指定通所支援の事業等の人員、設備及び運営に関する基準の改正によるものです。



○民法等の一部を改正する法律の一部の施行に伴う厚生労働省関係省令の整備に関する省令等の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定

うきは市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める

条例の一部改正です。

○うきは市総合交流ターミナル条例の一部を改正する条例の制定

道の駅うきはの総合交流ターミナル施設の利用料金の一部を改正するものです。

○うきは市立公園条例の一部を改正する条例の制定



請願書

請願者 自治労うきは市職員労働組合
執行委員長 石井 孝二

案件 地方財政の充実・強化を求める
意見書提出に関する請願

趣旨

いま、地方公共団体には急激な少子・高齢化に伴う医療・介護など社会保障制度の整備、子育て施策、人口減少下における地域活性化対策はもとより、デジタル化、脱炭素化、物価高騰対策など、極めて多岐にわたる役割が求められています。しかし、現実に地域公共サービスを担う

人員は不足しており、疲弊する職場実態にある中、来年度の政府予算と地方財政の検討にあたっては、歳入・歳出を的確に見積もり、地方財政の確立をめざすよう、政府に対し意見書を提出するものです。

結果

所管の総務産業常任委員会に付託され審議の結果、願意妥当と認められました。その後本会議で全会一致で採択されました。



議会より市へ！ 政策提言書を提出しました！

うきは市議会では、うきは市議会基本条例第2条第3項で「**把握した市民の多様な意見をもとに政策提言、政策立案等の強化に努めること**」の規定に基づき、9月の定例会で厚生文教常任委員会から提言書が提出されました。提言内容は本会議において全会一致で決議され、その提言書を市長に提出しました。



高校生世代までの
医療費
完全無償化を！

厚生文教常任委員会から、市長へ提言書を提出しました



見をもとに、市長に
対して政策
提言を行う
ことを全会
一致で決定
しました。

はじめに

うきは市で少子高齢化・人口減少対策が喫緊の大きな課題であることは、多くの市民が感じていることです。その対策として子ども子育て支援の様々な施策を行っていますが、そのいずれも少子高齢化・人口減少の波を抑制するための有効な手段になり得ているのか、疑問が残ります。そこで、厚生文教常任委員会では、令和4年7月より子ども子育て世代に関する支援策について1年間に渡り調査・研究を重ねました。更に子ども子育て支援で成果を上げている自治体へ視察を行い、そこで知り得た知見をもと

提言内容

「令和6年度からの高校生世代までの子ども医療費完全無償化の実施」

提言の理由

令和5年4月1日時点で、中学生までの医療費無償化を実施している福岡県内の自治体は、入院・通院ともで16市町村、高校生世代までは、入院のみで7市町村、入院・通院ともに実施している市町村は4市町村となっています。

従来は市町村が医療費無償化を実施する場合、国は医療費の国庫補助金カットなどの厳しいペナルティを科してきましたが、国も子育て施策の一つとして、この減額措置を撤廃する方向にあると聞いています。これに伴い、今後全国的に医療費の無償化を実施する自治体が増えてくるのが予想されます。この流れに後れを取ることなく、他

視察先

* 島根県吉賀町・邑南町
* 大分県豊後高田市

の自治体に先駆けることによって、うきは市の子ども子育て世帯の移住・定住を促進し、人口減少対策の一助につながると考えられます。医療費の支援は、子育て支援・少子化対策・人口減少対策の一端を担うのみならず、うきは市の将来を担う大切な子どもたちの健康な体と心を育む役割を果たす重要な施策です。

今回の政策提言に関する詳細な情報は、うきは市議会ホームページに掲載しています。右記のQRコードからも閲覧できます。



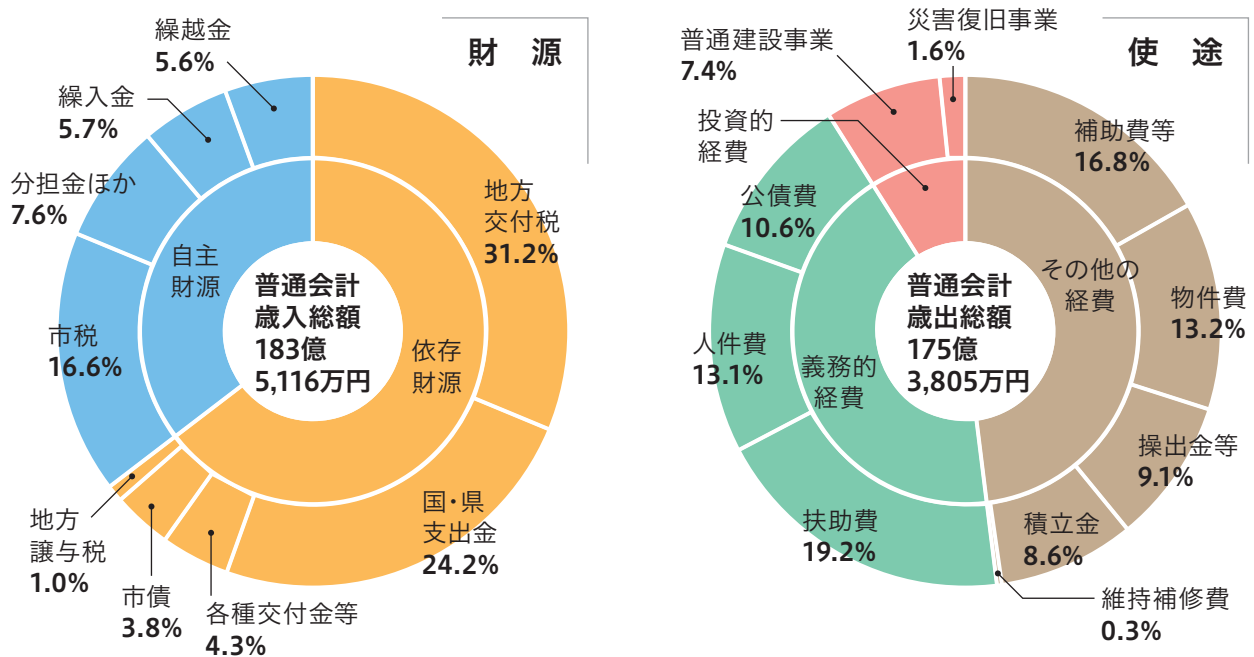
令和4年度の歳出総額 **219億円** を認定

9月定例会では、令和4年度のうきは市の決算を審査する決算特別委員会が実施され、普通会計は歳入が183億5,116万円、歳出が175億3,805万円となり、差引額は8億1,311万円でした。このうち、令和5年度へ繰り越すべき額1億1,624万円を差し引き、実質収支額は6億9,687万円となります。

各課各係の事業ごとに、目的と成果や課題等について詳細に質疑を行いました。

委員会の最終日には総括質疑を行い、エネルギーや人権問題などのSDGsに關係する事柄や老朽化が進む各種施設への取り組みなどについて質問並びに提言や要望を伝え、市長の見解を質しました。

採決の結果、全会一致で本決算を認定しました。また、特別会計と公営企業会計についても、それぞれ認定しました。



普通会計内訳

(単位:千円)

項目		令和4年度	令和3年度	前年比較増減	説明	家計に例えると
歳入	自主財源					
	市税	3,052,549	2,917,485	135,064	皆様からお預かりする税金	年間所得
	繰入金	1,038,027	611,424	426,603	不足を補う基金等からの取り崩し	預金の取り消し
	繰越金	1,027,542	814,361	213,181	前年度から繰り越された金額	年度末の残金
	分担金ほか	1,389,867	1,437,146	△ 47,279	使用料・手数料・寄附金など	賃貸、売却等の収入
	地方交付税	5,733,821	5,747,453	△ 13,632	人口や税収に応じた国からの交付金	親元からの仕送り
	依存財源					
	国・県支出金	4,440,278	5,094,971	△ 654,693	国や県からの特定目的の配分金	用途を限った仕送り
市債	695,692	1,081,178	△ 385,486	事業を行うために借り入れた金額	借金	
地方譲与税	182,288	200,643	△ 18,355	いったん国が集めた税金を市に配分	公的な補助金・助成金	
各種交付金等	791,093	816,460	△ 25,368	地方消費税交付金など		
合計	18,351,157	18,721,121	△ 369,964			
歳出	義務的経費					
	人件費	2,304,704	2,312,131	△ 7,427	職員の給料や議員報酬などの金額	衣食住費、雇人の給料
	扶助費	3,374,141	3,651,762	△ 277,621	医療費や児童手当など	病院費用、文房具など
	公債費	1,850,758	1,417,038	433,720	市債の返済のためのお金	借金の返済
	投資的経費					
	普通建設事業	1,296,393	1,697,068	△ 400,675	道路整備、建物の建設などの金額	建築、修理費用など
	災害復旧事業	286,132	352,792	△ 66,660	災害で壊れた道路などの復旧工事	事故や災害の復旧費用
	その他の経費					
	物件費	2,314,891	2,113,106	201,785	業務委託、消耗品、備品などの費用	家財道具、消耗品
	補助費等	2,941,540	2,956,815	△ 15,275	補助金、損害保険料などの費用	小遣い、損害保険など
積立金	1,513,345	1,629,445	△ 116,100	市の貯金に回す金額	貯金	
繰入金等	1,596,109	1,499,825	96,284	特別会計や公営企業会計への繰入金	特定目的の積み立て金	
維持補修費	60,036	63,597	△ 3,561	施設の維持・補修に使った金額	庭の手入れ費用	
合計	17,538,049	17,693,579	△ 155,530			

令和4年度の決算状況

(単位:千円)

会計名		歳入総額	うち基金繰入額	歳出総額	歳入歳出差引額	翌年度へ繰越すべき額	実質収支
普通会計	一般会計	18,191,513	0	17,382,975	808,538	116,240	692,298
	自動車学校特別会計	159,643	13,831	155,073	4,570		4,570
	小計	18,351,156	13,831	17,538,048	813,108	116,240	696,868
国民健康保険事業特別会計		3,983,831	0	3,852,441	131,390		
後期高齢者医療事業特別会計		512,446	0	509,939	2,507		
合計		22,847,433	13,831	21,900,428	947,005		

うきは市の財政状況

令和4年度末の基金(預金)等の残高は245億9,366万円で、前年度に比べて107億636万円増加しました。市債(借金)の残高は206億2,692万円で、前年度に比べて16億5,034万円減少しました。財政構造の弾力性の指標として用いられる経常収支比率が、昨年度よりやや増加し82.6%となったが、主な要因に公債費(借金の返済に充てる費用)の増加や臨時財政対策債の減少があげられます。

基金残高内訳 (令和4年度末現在)

(単位:千円)

会計名	主な基金名	令和4年度末残高	令和3年度末残高	増減額
一般会計	財政調整基金	5,572,140	5,492,658	79,482
	減債基金	1,186,847	1,106,820	80,027
	公共施設等整備基金	2,495,266	2,064,426	430,840
	地域振興基金	969,534	967,934	1,600
	ふるさと創生基金	358,894	359,789	△ 895
	地域福祉基金	561,249	559,528	1,721
	振興基金	1,095,561	1,232,486	△ 136,925
	森林整備担い手対策基金	267,140	267,386	△ 246
	山村地域振興基金	54,354	56,933	△ 2,579
	ふるさと・まごころ基金	443,446	436,753	6,693
	森林環境譲与税基金	29,835	24,569	5,266
	その他の基金4件	96,486	94,531	1,955
特別会計	自動車学校財政調整基金	321,542	313,704	7,838
	国民健康保険財政調整基金	350,410	270,410	80,000
土地開発基金(現金等)		398,385	376,879	21,506
国民健康保険高額療養資金貸付基金		7,000	7,000	0
出資金等		485,494	255,494	230,000
合計		14,693,583	13,887,300	806,283

市債残高 (令和4年度末現在)

(単位:千円)

会計名	令和4年度末残高	令和3年度末残高	増減額	
一般会計	11,084,526	12,206,481	△ 1,121,955	
公営企業会計	簡易水道事業	1,253,688	1,259,683	△ 5,995
	下水道事業	8,288,708	8,811,097	△ 522,389
合計	20,626,922	22,277,261	△ 1,650,339	

令和4年度は こんなことに 予算を使いました



金額は万単位(四捨五入)

臨時経済対策商品券発行事業

プレミアム率25%のうち **発行総額3.5億円分**
15%(県10%)を負担しました。

- うきは市買い物券(紙) 1,494万円
- うきは市スマホ買い物券(電子) 2,345万円
- うきは市スマホ買い物券
(うきはPay・電子) 1,429万円

コロナ禍に対する生活支援や物価高騰対策

国庫から緊急支援を行いました。

- 住民税非課税世帯への臨時特別給付金 1億 740万円
- 住民税均等割りのみ課税世帯への給付金 3,330万円
- 価格高騰緊急支援交付金 1億 3,500万円

総合交流ターミナル(道の駅うきは)管理事業

- レストラン空調改修工事など 2,215万円
- 道の駅改修基本計画策定業務委託 998万円
- 電気料高騰対策支援金 461万円



子育て支援

- 出産子育て応援給付金(令和5年2月に開始し、2,335万円を令和5年度へ繰越) 1,535万円
- 子ども医療費助成枠拡大 7,772万円
(3才から就学前の自己負担をなくしました)
- ひとり親家庭等医療費対策 1,556万円
- 子育て世帯等マイホーム取得支援補助金 2,740万円
- 子育て世帯生活支援特別給付金 4,363万円

新型コロナウイルス対策に関するもの (感染対策、経済対策など)

国と県の補助金(合計 9億 7,847万円)に市の財源を合わせて、多くの対策を行いました。

新型コロナウイルスワクチン接種

集団接種から個別接種へと徐々に移行しました。

- ワクチン接種委託料、関連費用 1億 7,215万円

社会福祉施設工事費 (合計 4,829 万円)

必要に応じて改修などを行いました。

- 総合福祉センター トイレ改修工事 3,218万円
- ゆうゆうセンター 循環装置改修工事 644万円

保育所の施設整備費

必要に応じて改修などを行いました。

- 千草保育園の給水設備改修工事 1,969万円
- 他の保育所でも設備更新や修繕 923万円

小中学校の教育環境整備費用

- 学校給食費および食材費補助 3,512万円
- パソコンやタブレット端末の整備等 4,376万円



下水道事業への繰出金

公営企業としての安定的財政運営のためです。

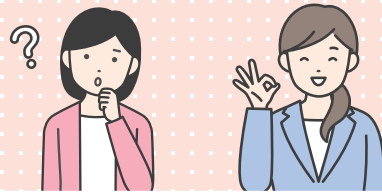
- 下水道事業会計負担金 6億 5,231万円
- 下水道事業会計出資金 2億 3,000万円

かわせみホール管理費

維持管理に努めています。

- 管理業務委託料 831万円
- 駐車場借上料 108万円
- 電気料金 640万円
- 上記以外 470万円
- 合計 2,049万円

総括質疑



Q かわせみホールは2030年まで現状を維持して使っていくという方針が示されているが、毎年の維持管理費が2千万円前後発生している。近隣施設を含むまちづくりを早急に進められたい。

A 2030年という期日に縛られることなく、早急な整備に向けて議論を進めていく。

Q 行政の農業担当者は国や県の施策の処理で手一杯。市長に先頭に立って引っ張って行ってもらいたい。

A 農業懇談会再開に向け動いているが、災害復旧の進み具合を見ながら対応したい。農業の将来については、食料・農業・農村基本法が令和6年度に見直される見込み。それにも対応しなくてははいけない。

Q 市内には未発掘古墳も多いので発掘してはいかが。また、案内板を設置して観光客にアピールしてもらいたい。

A 市内には2千～3千基あったと推定されるが、現在も残る100基以上のうち未発掘が過半数。傷みの少ないレーザー探査という方法もある。看板設置は現状確認してから検討したい。

Q 自主防災組織の組織率は90%に上がっていても、人口構成が変化しただろうし、機能しなくなった組織もある。防災意識の啓発と、災害弱者への配慮をのぞむ。

A 組織率100%を目指す。活動にばらつきがあることは理解している。支援していく。発災時には、初動、応急、復旧、復興の4ステージで考える。災害前の警戒と、発災直後の計画はしている。

Q 市内4カ所に点在する文化財施設（資料館）は単に統合だけではなく、観光客の集客と周遊を意識した観光資源として活用するように計画を見直してもらいたい。

A 平成26年の行革審議会で、2030年（第1期）に浮羽町に集約する答申が出ているが、期限にこだわらず第2期に向けて検討していきたい。

Q 藤波ダムでの水力発電は成果を上げているが、太陽光発電は安定性や保存性での課題がある。どのように考えるか。

A 合所ダムでの水力発電も考えている。2050年のカーボンニュートラルに向けて、さまざまな検討を進めていく。



いわぶち かずあき
岩淵 和明
議員

物価高騰に高齢者へ
社会保障費の軽減を

国県の財源が伴わない軽減は困難



市長



岩淵 物価高騰対策の支援を非課税から総所得320万円位まで拡大を求める。

市長 何故320万円が市民から疑念の声も考えられ、財政的な負担の問題からも困難と考えている。

岩淵 子育て世帯・多子世帯に焦点をあて生活支援の充実を求める。

市長 住民税非課税世帯・ひとり親世帯は国・県の支援で、うきは市独自に大学生養育世帯や住民税均等割のみ課税世帯への支援を実施した。

今後可能な限り支援をおこなう。

岩淵 物価上昇は切迫性がある問題と捉えるか。

市長 国際的に落ち着き、賃金上昇が見られ、このまま上昇とは

見えない。

岩淵 高齢者の生活をどう見ているか。

市長 高止まりする物価高に賃金上昇・年金引上げが追いついていない。

〔中小企業振興条例の策定〕

岩淵 うきは市の地域活性化に取り組むためにも中小企業振興条例の策定が必要と考えるが見解を。

市長 地域の雇用や経済を支える中小事業者の発展は必要不可欠。周辺自治体の条例制定の効果をお勘案しながら今後研究する。

中小企業
振興条例の
制定を



たけなが しげみ
竹永 茂美
議員

7月豪雨に対する
市長の決意・状況発信は

情報共有は大切な要素なので、もう少し研究したい



市長



竹永 内閣府の「災害時における市町村長の危機管理」に「住民に呼びかける」とあるが、市民に呼びかけたのか。

市長 防災行政無線・LINE等で行った。

竹永 床上浸水した家庭への対応は。

建設課長 市営住宅に10世帯の方が臨時入居されている。

竹永 7月20日の会議でうきは市支援策一覧を被災各家庭に配布すべきと伝えていたが。

市民共同推進課長 7月末に区長にうきは市支援策を配布した。

竹永 8月1日、区閲覧板では見なかったが、被災家庭に各戸配布はできないか。

市民共同推進課長 今年度ハザードマップの改訂時に支援策が載せられないか検討する。

竹永 市職員と教職員の6〜7月超勤実態は。

市長 6月は45時間以上が1名。7月は45時間以上15名、80時間以上1名。

教育長 6月は45時間以上99名、80時間以上12名。7月は45時間以上33名、80時間以上3名。

竹永 校長は教職員の業務量を適切に管理できているのか。

教育長 十分管理していると考えられる。



応急処置のできた巨瀬川岩光橋の兩岸



ごんどう ひでき
榎藤 英樹
議員

現状の本市にない
機能的特性を持たせた公立の
保育施設が必要ではないか

市民の保育ニーズを捉え、市全体に必要な
保育サービスを提供していくことは重要



市長



榎藤 公立保育所の建て替えや大規模修繕の前につきり計画を立てて民営化を進めるべきでは。

福祉事務所長 現在、具体的な民営化のスケジュールはない。市長とも協議し、具体的な対応を検討する。

榎藤 早急に民営化の準備を整えていただきたい。

市長 施設の老朽化や入所児童の減少等を考えると、しっかりと待ったなしで対応しなくてはならないと認識している。

市立自動車学校の今後の活用について

榎藤 県警OBの会計年度任用職員採用などにより、高齢者講習の枠を少し拡大できないか。

市長 指導員の数だけではない様々な対応が必要だが、議員の

提案も受け止めて、自動車学校とも話をしていく。

榎藤 高齢者も含めて人口が全体で減っていく中、本市の高齢者の皆さんや近隣地域の皆さんにも使いやすい自動車学校を検討いただきたい。

市長 自動車学校の運営は間違いなく公共財としてのサービスにシフトしていく。今後も自動車学校の職員と議論していく。

必要な保育サービスを
市内で受けられる子どもにも
親にもやさしい
うきは市へ!



ひぐちりゅうぞう
樋口 隆三
議員

市役所窓口での
軟骨伝導イヤホンの
導入について

他の自治体の検証結果を
調査し検討してまいりたい



市長



樋口 耳が聞こえにくい高齢者や難聴者と円滑にコミュニケーションを取れるようにするため、市役所内の窓口で軟骨伝導イヤホンを導入とのニュース。これは耳の周囲にある軟骨を振動させて音を伝えるもので、軽く当てるだけで利用できる

ので、窓口を導入してはどうか。

市長 これまでの骨伝導イヤホンは、音量を上げられない、廻りの音が入ってくるため音が小さく感じる、音漏れが大きいといったデメリットがあった。

新技術の軟骨伝導イヤホンは、音漏れがない、雑音を感じない、衛生的といったメリットがある。今後試験導入を行った他の自治体の検証結果を調査し検討していく。

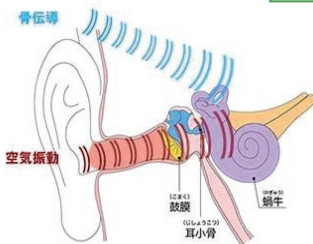
65歳以上で要件を満たした方に対する補聴器代の助成について

樋口 身体障害者手帳の交付を受けていない方が、難聴者として補聴器購入費補助の対象要件に該当する場合は助成して欲しい。○市内居住者○耳鼻科の医師が補聴器の必要性を認めている○過去に助成を受けていない等の要件該当者。

市長 認知症の予防等に効果が認められる場合には、補聴器購入に対する公的補助制度の創設を福岡県市長会を通して国に要望し、総合的に検討する。

その他の質問

- ・ 男性版産休制度の取得
- ・ 自主防災組織の編成
- ・ 投票支援カードの活用





たかき あきこ
高木 亜希子
議員

これからの小学校区、
子どもたちのために
丁寧な協議を



内部だけでなく、保護者の皆さんも
含めた検討の場を考える



市長

高木 学校が地域の中で重要だということも承知しているが、本市でも人口減少が進み、子ども数が減少していく。その中でいかに同世代の子どもたちと出会える、思い出を共有できる環境を作ってあげられるのか。今の子育て世代が決断するのが責任だと思う。今後の小学校区について、どのように考えているのか。

市長 少子化対策は最重要課題であり、小学校区のあり方についても重要な課題だと認識している。

高木 姫治、妹川、小塩の子どもたちが御幸小学校にきた時、保護者からはプラスの声が非常に多かった。PTA負担が少なくなったという声もあった。リア
ル子育て世代・若者世代の方々

が主軸となって、時間をかけて丁寧話し合ってほしい。
市長 子どもたちが学校でクラス替えができるような環境や、場合によっては小中一貫校という話が色々取り組みされている。もっと幅広い世代と学校の中で触れ合う環境も重要。社会を生き抜く力も求められている。保護者も含めた検討する場が設けられたらいいと考えている。

その他の質問

・ふるさと納税
およびうきは
ブランドに
関する情報発
信について



くみさか きよまさ
組坂 公明
議員

うきは市の財政調整基金は
今後どれだけの必要と
想定されているのか



決算を踏まえて可能な限り
積み立てていく



市長

組坂 厳しい財政状況の中、各種基金の管理運営について、目的や役割を精査する必要があるのではないか。

市長 いずれの基金も条例を制定し、管理運営を行っている。基金の使用目的や役割は、条例に沿って適正に運営している。

組坂 地域福祉基金・森林整備担
い手対策基金・森林環境譲与税
基金等は、基金条例の設置目的
に沿った使われ方がされている
のか。

市長公室長 条例に沿って適切に
使用されていると認識している
が、使い道が固定するような
ケースとかは、少し問題がある
と思っている。そのあたり
を調査検討していく。

組坂 うきは市の財政調整基金
は、近隣市町と比較すると標準
財政規模に対する割合が非常

に高いが、どこまで必要なのか。

市長 基金の裏付けがないと、当初予算もうまく組めない。また今回のような災害等の緊急的な対応もできない。しっかりと備えて対応させていただいている。

組坂 消防団が抱える課題解決のため、全団員へのアンケート調査実施について、団幹部との協議・検討結果は。

市長 アンケートは行わず、分団長会議の中で課題の解決に取り組んでいく。

令和3年度 標準財政規模及び財政調整基金状況 (単位:円)

	標準財政規模(A)	財政調整基金(B)	(B/A)
うきは市	9,153,648,000	5,806,362,000	63.4%
久留米市	73,754,152,000	7,451,356,000	10.1%
小郡市	12,796,359,000	3,559,497,000	27.8%
大川市	8,666,882,000	2,573,364,000	29.7%
大刀洗町	4,282,600,000	1,428,593,000	33.4%
大木町	3,653,267,000	2,219,000,000	60.7%

大雨被害状況 調査

総務産業常任委員会

調査期日 令和5年8月18日

調査場所 市内被害箇所
(農地・河川の所管関係)

調査趣旨 7月7日から降り続いた大雨により、市街地では床上・床下浸水や道路の損壊、山間部では土砂崩れや農地の損壊、農作物にも甚大な被害を受けました。被害状況の把握のため緊急に現地調査を実施しました。



富永の畦畔崩壊

- A** 重要なことだと認識している。
- Q** 毎回同じところが冠水している。予測して計画的に改修をしてもらいたい。
- A** 24時間予報で250mm以上で取水口を閉めている。時間雨量100mmを超える対策を検討する。
- Q** 今後の予防策は

調査箇所

- ① 山曾谷川 土砂堆積
- ② 富永工業団地
- ▼農地土砂流入
- ③ 屋部 農地水路崩壊
- ④ 元有 土砂崩れ
- ⑤ 長迫 頭首工損壊
- ⑥ 清瀬
- ▼災除川木材流出
- ⑦ 岩光
- ▼巨瀬川 堤防損壊

中学校現地調査 及び 部活動地域移行についての調査

厚生文教常任委員会

調査期日 令和5年8月3日(木)

調査場所 吉井中学校・浮羽中学校

- 調査趣旨
- ① 築50年近くとなり老朽化が著しい浮羽中学校と、比較対象として築年数の浅い吉井中学校の現地調査
 - ② 部活動地域移行の課題を把握するための調査



ひび割れ・雨漏り・カビの発生が起きている浮羽中学校校舎

浮羽中学校は天井・床・壁などに多くの経年劣化箇所が見受けられ、構造体の強度低下など安全性に問題を感じます。応急修理を行うだけでは安全・安心な学習環境を整えているとはとても言い難く、老朽化対策としては不十分であり根本的な対策が求められます。

部活動地域移行については、外部指導員の導入もあわせて調査しました。課題整理の段階であり、今後は協議会等をつくり対応していく予定であることを確認しました。

将来のし尿処理方法の検討と 今後の方向性について

市民生活
基盤対策
特別委員会

- 調査期日** 令和5年7月20日
- 調査場所** うきは市役所3階大会議室
- 参加者** 全議員14名・市長・市長公室長・市民生活課長・水環境課長・生活環境係長・上下水道工務係長
- 調査趣旨** 市内で発生するし尿及び浄化槽汚泥は、現在うきは久留米環境施設組合が管理する耳納衛生センターに搬入され処理が行われています。同センターは共用開始から30年ほどが経過し、老朽化に伴う施設の更新等検討しなければならない時期となっていることから、今後のうきは市の処理方法と方向性について協議を行いました。

【概要報告】

近年、し尿や下水処汚泥を活用した肥料の生産が全国各地で拡大しています。

委員会では、し尿及び汚泥の活用を、うきは市としてどのように進めていくか、検討が必要との指摘があり、継続して協議することを確認しました。

【背景】

現在、うきは久留米環境施設組合が運営している「耳納衛生センター」は老朽化に伴い、令和4年3月29日にうきは久留米環境施設組合議会協議会で、耳納衛生センターの更新は行わず、うきは市・久留米市の各市で単独処理を行うことで方向性が示されています。

この方向で、うきは市の整備計画を協議しています。



議会改革
特別委員会



令和5年8月1日発行の「市議会だより」でお知らせしてまい

たっており、議会改革特別委員会では、「議員定数・議員報酬等について」のアンケート調査を実施しました。

人口減少が進む中、うきは市の議員定数、議員報酬について、更には若者・子育て世代や女性が議員

に立候補しやすい環境づくり等についても調査を行っています。

幅広い年齢層の市民のみなさんからご意見を伺いたいと思っておりますので、ご協力をよろしくお願ひします。

アンケート調査については、本年度実施する「市議会議員との意見交換会」の会場や、インターネット等を活用して市議会ホームページからも参加できますので、ご協力ください。

うきは市議会アンケート調査
のお願い!

市議会だより74号でもお知らせしておりました「うきは市の議員定数および議員報酬」や、女性や若者がより参加しやすい政治のあり方について、市民のみなさんも一緒に考えていきましょう!

【アンケート受付期間】

令和5年11月1日～令和6年3月末まで

インターネットによるアンケートについては、うきは市議会のホームページから参加できますのでご協力ください。

こちらのQRコードをスマートフォンで読み取ると、うきは市議会アンケートページにつながります。



市民のみなさんと「意見交換会」を開催します！

令和元年以来の4年ぶりに開催します。
今回の意見交換会は、市内11ヶ所で開催します。

今回のテーマは？

市民のみなさんが身近な問題やテーマについて発言頂きながら、意見交換を行いたいと思います。

新型コロナウイルス感染対策により長らく開催出来なかった「市民のみなさんと市議会議員との意見交換会」ですが、この秋から再開していきます！
令和5年度は、各自治協議会のコミュニティセンターを会場に開催します。
みなさんとお会いできることを楽しみにしています！



市民のみなさんの声を政治に反映させるのは、議員のかかげる政策を普段から知って、「自分の一票でこの人の背中を押そう!!」



県議会選挙
投票結果

から始まります！

市議会選挙
投票結果



令和5年度 意見交換会 スケジュール

※今回は、自治協議会ごとの意見交換会になります。地元地域の方を中心に優先的に発言を頂きますようご協力ください。

自治協	開催場所	開催日	時間
山春地区	山春コミュニティセンター	10月10日(火)	午後7時00分～
妹川地区	妹川コミュニティセンター	11月8日(水)	午後7時30分～
小塩地区	小塩コミュニティセンター	11月15日(水)	午後7時30分～
大石地区	大石コミュニティセンター	11月16日(木)	午後7時00分～
田籠地区	田籠コミュニティセンター	11月24日(金)	午後7時30分～
江南地区	江南コミュニティセンター	11月28日(水)	午後7時00分～
福富地区	福富コミュニティセンター	12月15日(金)	午後7時00分～
新川地区	新川コミュニティセンター	12月18日(月)	午後7時00分～
吉井地区	るり色ふるさと館研修室	1月17日(水)	午後7時00分～
御幸地区	御幸コミュニティセンター	調整中	
千年地区	千年コミュニティセンター		

※10月16日現在

女性が社会参画しやすい環境づくりを！

風土豊かで、人間味たっぷりのこの「うきは市」に嫁いで50年、私はこの「うきは市」が大好きです。

現在、うきは市では11の自治協議会を中心に、それぞれの地域で様々な取組みが行われ、「うきはに住んでよかった」と思えるようなまちづくりが、少しずつではありますが進んでいると感じています。

次世代への子育て支援、高齢者の生涯現役へのお手伝いなどが地域

に浸透し、支え合いの地域づくりがなされていると思います。

しかしながら、人口の半分は女性なのに、残念ながら未だ男性中心の社会にしか見えてきません。「女性の感性が色々な表舞台で、もっともっと生かされれば」と思わずにはいられません。女性が社会参画しやすい環境づくりや意識の改革が、うきは市はまだまだ遅れている気がします。

また、市政に対しても、もっと市民が参画するようになればいいのと思います。



伊藤 貞子さん

浮羽町朝田在住

- ・みざれ太鼓保存会 会長
- ・御幸自治協議会 副会長
- ・うきは夢酔塾女性部長



あいきょうむげん

好きなことば…「愛郷無限」

ふるさとをこよなく愛すること。この言葉のとおり、うきは市がとても大好きです。自分の故郷のため、まちづくりのため、一生懸命頑張っていきたいと思っています。

議会を傍聴しませんか

12月議会定例会は

12月8日(金)開催予定です。

一般質問は

12月11日(月)

12月12日(火)

の予定です。



インターネットのライブ配信と録画配信もおこなっています。

表紙紹介

うきは市民大学に参加した小学生たちが、市議会の議場で「子ども議会」へ挑戦しました！



●小学生の考える観光ルートとは
●どの校区にも子どもが行ける公園が欲しい
などが提案され、中には「おっ！」と思わされるような視点のアイデアも！緊張の面持ちでしたが、発表が終わってからのリラックした様子が印象的でした。

編集後記



9月議会では、災害復旧支援の充実を求める意見書等が採択され、また、高校生世代までの子ども医療費完全無償化実施に関する政策提言書が決議されました。

さて、本年度からは議会として市民の皆さんとの意見交換会を再開していきます。また、議員定数や議員報酬等についてのアンケートも実施する予定です。幅広い世代の皆さんと「このまちの政治」の距離が身近になることを願っています。
(高木 亜希子)

発行責任者

議長 江藤 芳光

広報広聴委員会

委員長 野鶴 修
副委員長 岩淵 和明
委員 樋口 隆三
高松 幸茂
高木 亜希子
権藤 英樹